

ななきた 高め合う子



水仙～希望

仙台市立七北田小学校だより NO. 5

H23.6.14 児童数 663名



Mail: nanashou@sendai-c.ed.jp

Tel 372-3659 Fax 372-2616

<http://www2.sendai-c.ed.jp/^nanashou/>

まなび合う子

なかよくし合う子

きたえ合う子

平成 23 年度教育活動重点取組事項、及び協働型重点目標のお知らせ

本校では、例年年度末に教育活動を振り返り、児童・保護者・学校の三者の自己評価と、学校評議員・学校関係者評価委員の皆様による評価を行い、次年度の重点目標や教育活動の計画に生かして、保護者の皆様にお示ししております。

平成 22 年度末も評価をまとめ、23 年度の計画立案を終えておりましたが、3 月 11 日の震災によって報告の時期を逸し、年間計画も見直しが必要となりました。また、今年度は例年実施している活動が中止・変更されることも予測されます。

そこで、4 月当初には暫定的な「年間計画」と「週時程表」を配付し、4 月 23 日授業参観日に「年間カリキュラム表」を配付、教育説明会で今年度の教育活動の概要を説明いたしました。

遅くなりましたが、今年度重点取組事項を、「学校要覧」「地域共生科パンフレット」と併せてお知らせいたします。

また、学校と家庭が共に取り組む「協働型学校評価重点目標」についてもお知らせいたしますので、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

今年度重点取組事項とその根拠となった評価結果は、近日中にホームページに掲載いたします。

「地域共生科パンフレット」は、1 年生のみの配付となります。

まなび合う子～創造的な知性を育てるために

- 1 今年度から完全実施となった新学習指導要領ですが、本校では 22 年度から前倒し、週の授業時数を増やしています。その結果、3 月 11 日までに、22 年度の授業時数は確保できていました。しかし、年間学習計画の企画立案期間としてとった 4 月～5 月初旬の全学年 4 校時限によって、年間のバランスに偏りが出てしまいましたので、今年度は、地区巡視期間を除き、2 週目から通常の時程としました。3 月 11 日以降できなかった学習の復習の時間としても有効活用しました。
- 2 「各教科」では、基礎的知識・技能を確実に身につけさせる工夫をします。身につけた知識・技能を活用して新しいものを創造する力や実社会で応用する力を「地域共生科」で体験を通して身につけます。また、「各教科・領域」「地域共生科」を通して話し合い活動等言語活動を重視し、コミュニケーション力の育成を図ります。
- 3 「地域共生科」を、教科・領域の核としてとらえ。各教科との関連をはかった指導を行います。指導時間は「総合的な学習の時間」のすべて（3～6 年）と生活科の一部（1・2 年）を充てます。各教科の時間は新学習指導要領規定の時数そのまま、減ることはありません。
4/23 配付の「各学年年間カリキュラム表」参照
- 4 理数教科の充実を図ります。
・算数少人数指導は、中学生が教室利用をしている期間は、全学年 TT（ティーム・ティー

チング)による個に応じた指導を行います。

- ・ 理科専科授業を、高学年に加え、4年生の一部単元で行います。東北大学大学院との連携事業(七北田サイエンスプロジェクト=NSP)を3~6年生で行います。また、理科授業を支援する理科支援員が6月末から配属されます。
- 5 ICT(情報通信技術=情報コミュニケーション技術)教育を推進します。
- 6 5・6年生の外国語活動を充実します。1~4年生は、朝の活動として「英語に親しむ活動」を取り入れます。七北田中と南光台東中のALTや外国居住経験者等を活用して実施します。
- 7 読書活動を推進します。「朝読書」(火・木 8:25~8:40)、保護者ボランティアさんによる「読み聞かせ」「始業前の図書館開放・貸し出し」(7:45~8:20)を実施します。
- 8 学習意欲を高める工夫をします。7月19日に、本校評価委員 川島隆太教授による「学習意欲」に関する講演会を児童向けに行います。
- 9 1年生で「スタートカリキュラム」を実施し、小学校生活へのスムーズな適応を支援し、学年共通した学び方を身につけさせます。

なかよくし合う子~共に生きる心を育てるために

- 10 生徒指導年間目標として、あいさつ運動をさらに盛んにします。
- 11 道徳教育を推進します。授業参観でも積極的にお見せします。
- 12 異学年交流活動を教育活動全体を通して意識的に取り入れます
- 13 PTA・学校共催の「ゆめフェスティバル」と児童会行事「七小まつり」を融合させ、地域みんなで楽しめるフェスティバルを計画します。(10/15)

きたえ合う子~たくましい体を育てるために

- 14 体力・運動能力調査の分析を生かし、体育の授業や体育的自主活動を工夫します。
- 15 外での自由遊びを積極的に推奨します。
転倒時手をつけず、顔を打つ怪我が多いことが大変心配です。多様な動きをする自由遊びの怪我予防効果が指摘されています。また、「小さな怪我の経験が、大きな怪我を予防する。」という専門家もいます。
- 16 よい生活習慣を身につけるために「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。
- 17 野村給食センターの栄養教諭・栄養士による食育の授業を継続します。

防災・防犯・安全教育

- 18 携帯電話の校内持ち込みは、仙台市教育委員会の指針（原則禁止）に則り、許可制です。
- 19 配信メールを継続活用します。できるだけ登録をお願いします。メールでは不通が予想される場合「緊急連絡網」を併用します。
- 20 「避難訓練」「集団下校訓練」「引き渡し訓練」（メール配信訓練を兼ねる）を行います。「引き渡し訓練」は自由参観日に実施します。
- 21 防犯子どもを守ろうデーの機会に「地域巡回」と「子ども110番の家」からの情報収集を行い、児童の安全な環境づくりに努めます。
- 22 震災時の避難所設営を検証し、地域防災に協力します。

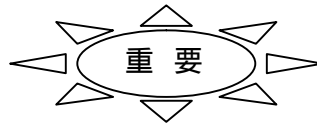
地域と共に歩む学校

- 23 学校はいつでも地域・保護者の方に開放しています。授業参観日以外の参観や教育相談ができます。（事前にお知らせください。）また、学校支援ボランティアを歓迎します。「学校支援地域本部」室は、いつでも利用できます。
- 24 年間を通して、少なくとも月1回程度の保護者公開行事や授業参観・面談等を設定します。時間帯や曜日についてはご家庭の実情により様々なご要望があり、すべてにお応えすることは不可能です。ご都合がつかない場合は、学校はいつでも公開しておりますので、お声がけください。
- 25 「教育相談」は担任・校長・教頭・養護教諭・特別支援コーディネーター・さわやか相談員（内容によって事務長）が対応します。
- 26 学校Webページ（ホームページ）をさらに活用し、緊急連絡や学校・学年の教育活動紹介の内容を充実させます。

学校支援地域本部

- 27 「学校支援地域本部」を「中学校区学校支援地域本部」として七北田中・野村小・市名坂小と連携して支援の幅を広げます。また、泉区中央市民センターが行っている「ふれあい学びネットい・ず・み」とも連携します。事務局は市民センターと本校に置き、事務局長はP副会長の佐竹さんです。地域コーディネーターは谷口さん、スーパーバイザーは村上さんです。
- 28 「学生ボランティア」を活用します。学区内にある東北学院大学の教員志望の学生が主です。教育委員会に登録した正規のボランティアです。今年度から「学校教育相談ボランティア」を新設しました。
- 29 1年生「生活・学習サポーター」「図書ボランティア」「地域共生科パートナー」「外国語活動ボランティア」「体力・運動能力調査手伝いボランティア」等々、たくさんの方々に支えていただいています。随時募集しますが、ご希望の方はいつでもお申し出ください。

協働型重点目標



協働型重点目標とは、学校・家庭・地域の三者が協働して、児童のよりよい姿を実現するための目標です。仙台市立のすべての学校で、児童の実態に合わせ実践しています。

本校の今年度の重点目標は、以下の4つです。

- ・ 学校では、全教職員が工夫して取り組みます。
- ・ ご家庭や地域の皆様に取り組んでいただきたいことを例示しましたので、ご家庭の実情に合わせてご協力をお願いします。

1 進んで(家庭)学習する子

生活習慣や学習習慣は、学ぶ意欲に直結します。(仙台市標準学力検査・仙台市学習状況調査結果から)担任の家庭学習の方針をご理解いただき、家庭学習への声かけや見守りをお願いします。(家庭学習については、学校全体で出し方を共通理解しています。)

2 ボランティア活動や地域の活動に参加する子

地域共生科では実際に行動するところまでめざしています。地域でも主体的に行動できることはないか、アドバイスしていただけると嬉しいです。児童会活動では全校児童がボランティアパスポートをもち、自分でできることに取り組むように声掛けをしています。町内会や子ども会、各団体が開く行事やお祭り、スポーツ活動も体験の幅を広げるのに有効です。

3 自分のよいところに気づく子

勉強ができる、スポーツが得意、だけでなく、どの子もその子なりのよさをもっているものです。狭い価値観やものさしで子どもを見てみると、よさが分からないものです。多面的な視点で認めてあげるために、前項2のような、多くの経験をさせてください。

地域共生科で考える「社会貢献」は自己犠牲の奉仕ではなく、自分のよさを生かし、活動することが子ども自身の自信につながることをめざしています。

4 将来に夢や目標をもつ子

何のために勉強するのか、実感をもたずに勉強している子が多いのが、数年前までの本校の児童の特徴でした。最近の調査では、目的をもって学習に取り組む児童が増えているという結果がでています。前項1の仙台市標準学力検査・仙台市学習状況調査では、「夢をかなえるために勉強する」「将来の可能性を広げるために勉強をがんばる」「世の中の役に立つ人間になるため勉強をする」と答えた子と学習成績とはプラスの相関関係があるという結果が出ています。将来の夢や目標に結びつける働きかけや、そのために今何をすればよいのか、お子さんや学年に応じた働きかけをお願いします。

お知らせ

6月16日(木)17日(金)は、6年生の修学旅行です!! 震災まもない今年は、安全第1で、山形県米沢市方面に出かけます。昨年度「地域共生科」で自分たちが発信した【fmいずみ】から、現地発信をすることになりました!! ぜひ、お聴きください。16日14:40ごろ、17日14:30ごろの予定ですが、時間が前後することもあります。

番組名 / 「Daily Café」 パーソナリティ / さとうまほ さん
周波数 / fmいずみ 79.7MHz

ラジオだけでなくパソコンでも、全国どこからでも聴くことができます。
「サイマルラジオ」で検索し、【fmいずみ】のボタンをクリックしてください。